

交換留学(派遣) 近況報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)



留学先大学:	University of Birmingham
留学先での所属学部・研究科:	The School of Social Policy
留学先での在籍身分:	BA
留学期間:	9/23/2019-6/19/2020
神戸大学での所属学部/研究科:	国際人間科学部
学年(出発時):	三年
本報告書記入日:	11/11/2019

1. 出発前について

1-1	交換留学以前に海外留学の経験はありますか。	はい
	「はい」の場合、留学先及び留学期間を記入ください。	カナダ(1ヶ月)
1-2	このプログラムを最初にどのように知りましたか。	GEMs(神戸大学グローバル教育管理システム)
	その他を選択した場合、記入してください。	
1-3	このプログラムに参加した動機を教えてください。	最もよく当てはまるものから順に1~4まで順位をつけてください。(1:最も強い動機)
	学術的な目的(研究を深めるなど)	1
	語学力の向上	2
	プログラムの時期がちょうど良い	
	プログラムの長さがちょうど良い	
	かかる費用がちょうど良い	
	地理的な条件が良い	
	将来のキャリアのため(就職に役立つなど)	3
	家族のバックグラウンドと関係がある	
	異文化を体験したい	4
	その他(具体的に記入)	
1-4	出発前にどのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば記入してください。	GEMs(神戸大学グローバル教育管理システム)
1-5	VISAについて	
	VISAの種類:	Tier 4 Student Visa
	申請先:	VFS
	必要日数:	1ヶ月程度
	VISA取得にかかった費用:	10万円
	VISA申請のために求められた書類:	パスポート(念のため、寮の申込済を示す書類、口座証明書、奨学金受給証明書もいと書いてあったので準備はしたけれど、必要なかった)
	その他、VISA申請の際のトラブルや、注意すべき点があれば記入してください。	全てオンライン上での手続きが重要になってくるので、大事な番号や連絡先はこまめに書き留めておくとうい、と思った。あとは、辺鄙な場所にあるVISA centerにいかなければいけないこともあるので、場所の時間の確認は必須。
1-6	出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用	なし
1-7	どのような種類の保険に加入したかを教えてください。また、現地で加入した保険があれば記入ください。	生協で加入できる、東京海上日動の海外保険に長めに加入。
1-8	その他に必要な手続き、方法、料金等	寮の手続きと、その保証金(550ポンド)

2. 留学先到着後の手続きについて		
2-1	到着時について	
	利用旅行会社(航空券の手配をした会社):	Air ChinaとLufthansa
	到着空港名:	Birmingham Internationl Airport
	空港到着時間:	
	到着地からの移動手段:	公共交通機関(バス・鉄道)
	移動の所要時間・料金:	30分
	到着地からの移動で注意する点があれば記入ください。	荷物が多いと公共交通機関で移動するのは難しいかも。多くの寮がairportからのpick up service をofferしているのでそれを利用するのが良いかと。
2-2	住居について	
	住居のタイプ:	大学寮
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居(寮、アパート)の名前:	Battery Park
	部屋の種類:	一人部屋
	その他を選択した場合、記入してください。	
	ルームメイト:	現地学生
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居の探し方:	大学の斡旋
	その他を選択した場合、記入してください。	
大学までの通学時間・手段:	徒歩15-20分	
	住居の周りの環境はどうか。	夜中に出歩くのは危ない。寮の裏のドアはショッピングモールにつながっていて、雨でも外に出なくて買い物に行けるのでとても便利。韓国食材店や中国料理やさん、ファストフード店も近く利便性は高い。
	毎日の食事はどうしていますか。	自炊が多い。
	住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。	渡航前に発覚したことだけれど、向こうの手続きにミスがあり、確保できていたと思っていた寮が確保できていなかった。国際電話を何回もかけて、説明をして部屋をもう一度とってもらった。その際保証金はもうすでに払っていたので、そのお金のやりとりももう一度繰り返さなくてはいけなくて、大変だった。
2-3	留学生向けオリエンテーションについて	
	留学生向けオリエンテーションの有無について:	有り
	参加義務について	必須
	参加費用:	無料
	有料の場合、金額:	
	オリエンテーションの内容を記入してください。	BRPカードの回収、student IDの回収、bank accountの開設
2-4	その他、渡航してから必要な手続きについて	
	現地で滞在許可申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。	必要。日本にいるうちにVISAと同時に申し込まれている(と思う)ので、あとは、到着後に学校のorientation dayである決まったテントに行けば回収可能。回収場所を日本にいるうちに指定しなければいけないので、それをuniversityにしておくのとあとで楽。
	その他、現地到着後にした手続き(健康診断、予防接種等)があれば、方法、料金を記入してください。	GP(地元のかかりつけ医)の登録(無料)、銀行開設(無料)

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1	語学力向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学(語学学校)名、コース名、料金、期間等を記入してください。	していない
-----	--	-------

4. 大学の授業について

4-1	履修登録について	
	履修登録の時期:	出発前
	履修登録の方法:	オンライン
	その他を選択した場合、記入してください。	
	登録時に留学生として優先・配慮はありましたか。	無し
	優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。	
	希望通りの授業が履修できましたか。	はい
	希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。	
4-2	現在までに履修している授業について記入してください。	クリックで別シートへ
4-3	一週間のスケジュール(授業時間、課外活動等、毎日の生活)を記入してください。	クリックで別シートへ

5. 現在までの感想を自由に記入してください。(800字～)

—今だから言えるものの、一ヶ月目は人生の中でも1、2を争うほどに過酷な日々だった。新しい環境になれなければいけないというプレッシャーのもと、授業も始まり、知らない学生との寮生活や、同級生との出会い、友人作りなど様々な事も重なり、ストレスがたまる日々が続いた。もはやうつ病になっているのでは…、と思うほどに気分も落ち込み、引きこもりがちだった私である。しかし、月末になり、ようやく少しずつ環境に慣れてきたことで見える景色も変わり、ある程度落ち着いて生活できるようになった。一人暮らしをしていたので、自炊や海外に4年ほど住んでいたこともあり、海外に住むことがどれだけ大変かは理解していたつもりだったけれど、やはり辛いものは辛い！と強く感じつつ。その分日本での日々がどれだけ楽しく充実していたのかを実感できた瞬間でもあった。

二ヶ月目に入ると、大変な事も多いがそれ以上にやはり留学に来られた事に喜びを感じる日々が続いた。日常生活のみならず、特に勉強に関しては神戸大学では学ぶ事のできなかった多角的な視点からの学びや、他学生との活発な意見交換など刺激を受けることが多く、とても楽しい。日本にいた頃も勉強することは好きだったけれど、こちらの大学では学問をより体系化して学んでいる気がする。

およそ三ヶ月めに突入すると知らない人との出会いも増える。一緒に外出するなど、楽しいことも多いが、その分危機管理能力もしっかり持ちつつ行動しなければいけないと気持ちを新たにしている出来事もあった。例えば、私の住んでいるSelly Oakという地区で一ヶ月に2人が路上で強盗に遭い、刃物で襲撃されたという話や、中国人の友人がBirminghamの中心地で恐喝をされる、という事件が立て続けにおこったことなどがあげられる。こうした事件はバーミンガムでは至って普通のことだと友人が言っていた。しかし、やはり基本的に夜は外を歩かない、外出していても帰宅が20時を過ぎる場合はUberや学校のバスを使用すること、誰かと一緒に帰ることの三つをルールとして念頭において行動したい。三ヶ月めには心の余裕もできて、自由な時間をどう過ごすか、日本に帰って何をしたいかや、自分の将来について考える時間が増えた。そして考えてみたときに、自分はやはり日本で働くよりも海外で働きたいという気持ちが大きくなっていったこと、勉強をもっとしたいと思ったこと、そして、自分のルーツでもあるドイツに長期的に滞在したいと思っているという自分の気持ちが顕在化した。こうした考えをもとに、将来を具体的に考えていく段階になっているという結論で、2ヶ月半の留学生活における近況報告を終わりたいと思う。

4-2 現在までに履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Sociology of Everyday Life	Dr. Frances Rogan	4	20	English	100?	
2	Punishment in a Global context	Dr. Anna Kotova	4	20	English	100?	
3	Level3 German MOMD	Nick Oldham	2	10 (1タームのみ)	German	7	
4							
5							
6							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

1と2の授業は、1週間に3時間はLectureで、1時間はSeminarという構成になっている。Seminarでは10人以下の少人数で、出されているSeminar Questionsについて、Reading Assignmentを読んだ上で学生同士がdiscussするというシステム。出席も取るし、発言も大事だが、結局最後のessayが100%の成績評価にはなっている。現地の学生は英語のReading Assignmentをきちんと読み込んでいて、質問にもアクティブに答える姿勢もあり、頑張れる。こっちでは時間がたくさんあるけれど、その分、自分で何をするかを決めて行動しないと、のんびり時間を過ごすだけで、終わってしまうので、悩ましい。

4-3 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
8:00						遊んだり勉強したり、のんびりしたり	
9:00							
10:00	授業	授業	授業				
11:00							
12:00		ボランティア	図書館		授業		
13:00							
14:00	授業			授業			
15:00							
16:00							
17:00			授業				
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							